

# 鹿児島県感染症情報

## 2022年 第39週報 (9月26日～10月2日)

発行：鹿児島県環境保健センター（内容に関するお問い合わせ：健康増進課感染症保健係）

※ 感染症のホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/kenko-iryu/kansen/index.html>

県内の新型コロナウイルス感染症は、10月2日時点の届出総数が299905例となりました。県が8月3日に発令した「BA.5対策強化宣言」については、県内の感染状況を踏まえ、予定どおり9月30日をもって終了しました。また、国の「BA.5対策強化地域」の位置づけについても同日で終了しました。

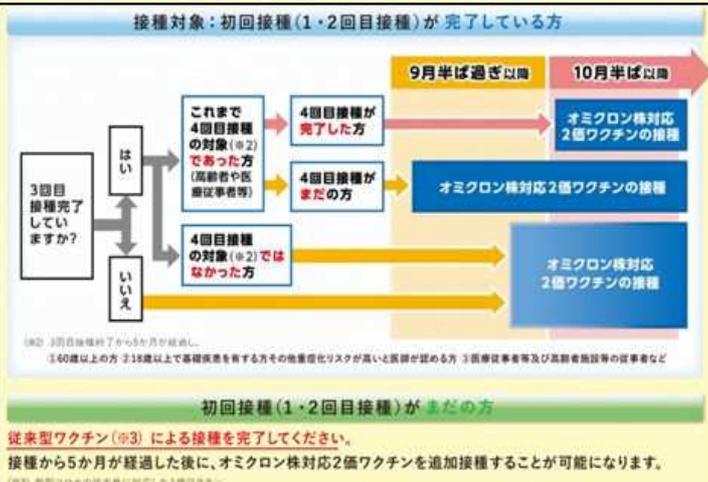
県内の感染状況は、新規感染者数が1000人を下回る日が継続するなど減少し、高齢者の新規感染者についても、数・割合ともに減少してきています。また、病床使用率については、9月23日から20%台で推移し、9月29日付けで、病床フェーズを「緊急フェーズI」から「一般フェーズ4」に移行しました。

オミクロン株に対応したワクチンの接種が9月20日から開始されています。年内に、希望する全ての方が接種するのに十分な量のワクチンが供給されますので、一時的に予約が取れなくても、安心して待っててください。順次、市町村から案内がありますので、ぜひワクチン接種をご検討ください。

新型コロナの従来株とオミクロン株に対応したワクチンの接種は、初回（1・2回目）接種を完了した12歳以上の全ての方が対象で、一人1回接種できます。

4回目接種の対象者で接種を受けていない方を優先して接種を始めますが、予約に空きがあれば、初回接種を完了した12歳以上で最終接種から5ヶ月以上経過している方は接種可能です。

これまで2年間、年末年始に新型コロナは流行しています。2022年の年末までに、重症化リスクの高い高齢者はもとより、若い方にもオミクロン株対応2価ワクチンによる接種を完了するようおすすめします。



第39週の定点報告疾患の報告数をみると、手足口病の流行発生警報域は鹿屋保健所のみです。全数報告疾患の第39週時点での届出状況を見ると、梅毒が102例（2021年は年間で56例）、レジオネラ症が20例（2021年は年間で13例）となりました。

### ☆一～五類感染症(全数報告疾患)の発生状況

一類感染症	発生報告なし
二類感染症	結核4例（肺結核4例）
三類感染症	発生報告なし
四類感染症	つつが虫病1例、レジオネラ症1例、レプトスピラ症2例
五類感染症	急性脳炎1例、梅毒3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、アメーバ赤痢1例
新型コロナウイルス等感染症	新型コロナウイルス感染症3141例 (うち、みなし陽性者5例及びびコロナ・フォローアップセンターでの確定者99例を含む)

### ☆定点報告疾患の発生状況

- ・今週の定点医療機関は、インフルエンザ定点90、小児科定点53です。（インフルエンザ定点2減、小児科定点1減）
- ・第39週の定点把握対象疾患の総報告数は278人で、前週より4人多い報告数でした（4頁参照）。
- ・流行発生警報の基準値（開始基準値及び終息基準値）以上の保健所
- 【手足口病（開始5.0、終息2.0）】：鹿屋(3.00)
- ・流行発生注意報の基準値以上の保健所 該当なし

## ☆定点報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患の発生状況）

### (1) 感染性胃腸炎

第39週の感染性胃腸炎の報告数は108人で、前週より9人少なく、定点当たりの報告数は2.04であった。

年齢別では、1歳（21人）、10～14歳（17人）、2歳（11人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿屋保健所（3.80）、鹿児島市保健所（3.62）、指宿保健所（3.50）の順に多い。

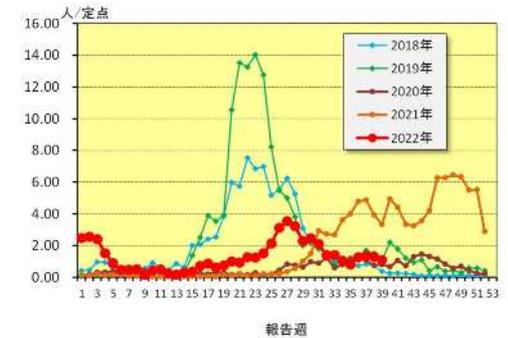


### (2) 手足口病

第39週の手足口病の報告数は58人で、前週より10人少なく、定点当たりの報告数は1.09であった。

年齢別では、1歳（28人）、2歳（10人）、3歳（9人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿屋保健所（3.00）、加世田保健所（1.67）、鹿児島市保健所（1.62）の順に多い。



### (3) ヘルパンギーナ

第39週のヘルパンギーナの報告数は33人で、前週より11人多く、定点当たりの報告数は0.62であった。

年齢別では、1歳（17人）、2歳（6人）、6～11ヶ月（5人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、指宿保健所、加世田保健所、始良保健所、鹿屋保健所、名瀬保健所（それぞれ1.00）、鹿児島市保健所（0.92）、出水保健所（0.33）の順に多い。



### オミクロン株対応2価ワクチンの効果

**■ 従来型ワクチンを上回るオミクロン株への効果が期待されています。**

オミクロン株対応ワクチンの追加接種には、オミクロン株の成分が含まれるため、従来型ワクチンと比較した場合、オミクロン株に対する重症化予防効果、感染予防効果、発症予防効果それぞれに寄与する免疫をより強く誘導します。

そのため、オミクロン株に対して、従来型ワクチンを上回る**重症化予防効果**とともに、持続期間が短い可能性があるものの、**感染予防効果**や**発症予防効果**も期待されています。

**■ 2価のワクチンであることにより、様々な新型コロナウイルスに反応します。**

異なる2種類の抗原があることにより、誘導される免疫も、より多様な新型コロナウイルスに反応すると考えられます。

そのため、**今後の変異株に対して有効である可能性**がより高いことが期待されています。

（※4）2022年8月現在の科学的知見を踏まえた専門家の議論をもとに記載しています。今後、知見の蓄積等によりアップデートされる可能性があります。出典：新型コロナワクチンの製造株に関する検討会 第二次取りまとめ

（日本における新型コロナウイルス変異株の変遷（イメージ））

### オミクロン株対応2価ワクチンの安全性

ファイザー社及びモデルナ社の2価ワクチンの薬事承認において、**どちらのワクチンも従来型ワクチンとおおむね同様の症状が見られました。**

（接種後7日間に現れた症状）

発現割合	症 状	
	ファイザー社	モデルナ社
50%以上	注射部位疼痛	注射部位疼痛、疲労
10～50%	疲労、筋肉痛、頭痛、悪寒、関節痛	頭痛、筋肉痛、関節痛、リンパ節症、悪寒、悪心・嘔吐
1～10%	下痢、発赤、腫脹、発熱、嘔吐	紅斑・発赤、腫脹・硬結、発熱

出典：特許審判に係る報告書より改編

◎ **ワクチンを受けるにはご本人の同意が必要です。**

ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、ご本人の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いいたします。受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。

職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に対して差別的な対応をすることはあってはなりません。

◎ **予防接種健康被害救済制度があります。**

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

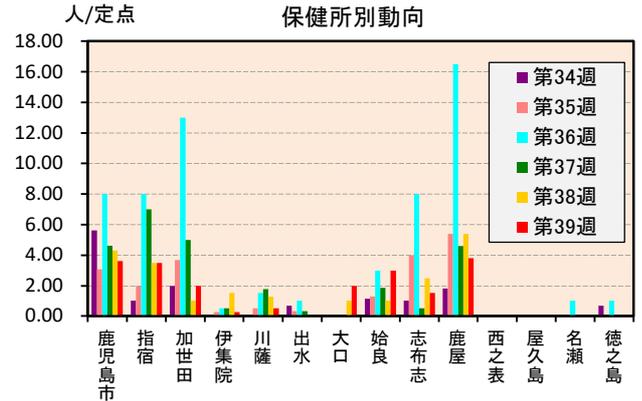
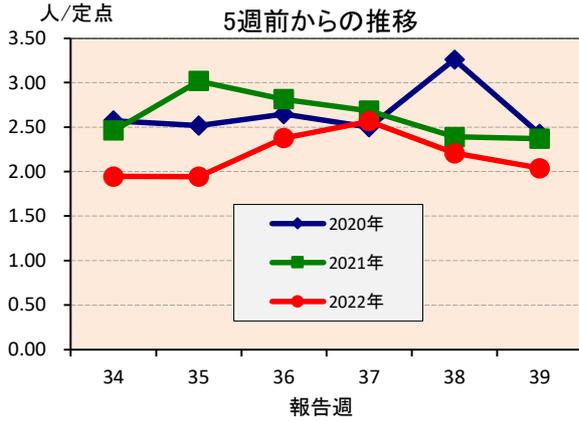
新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報については、厚生労働省ホームページの「新型コロナワクチンについて」のページをご覧ください。

ホームページをご覧にならない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

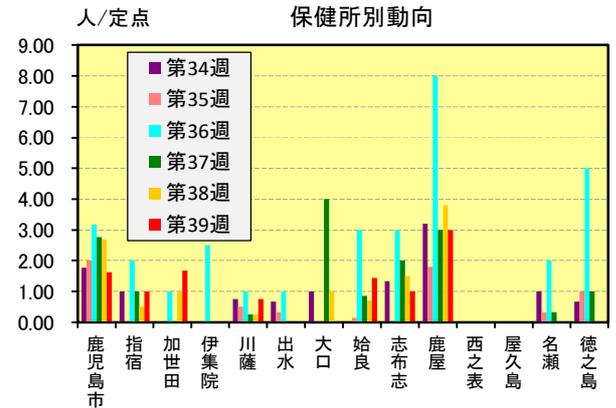
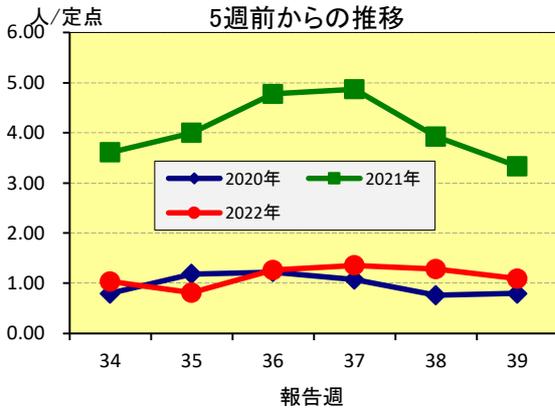
**厚労 コロナ ワクチン 検索**

☆上位3疾患の5週間前からの定点あたり報告数及び保健所別動向

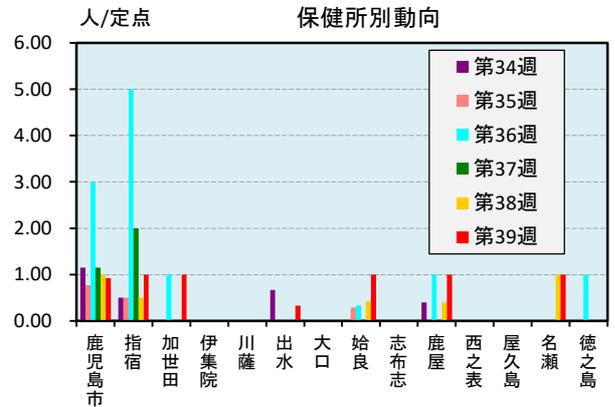
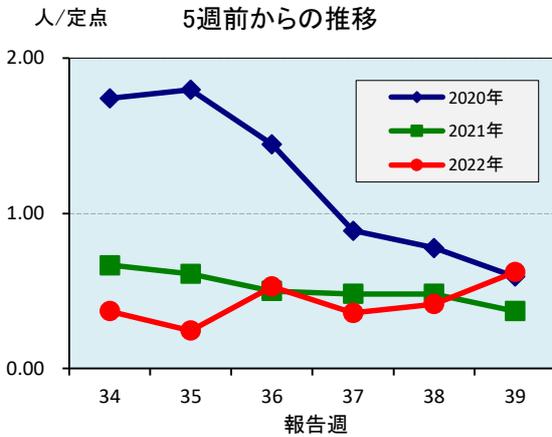
(1) 感染性胃腸炎



(2) 手足口病

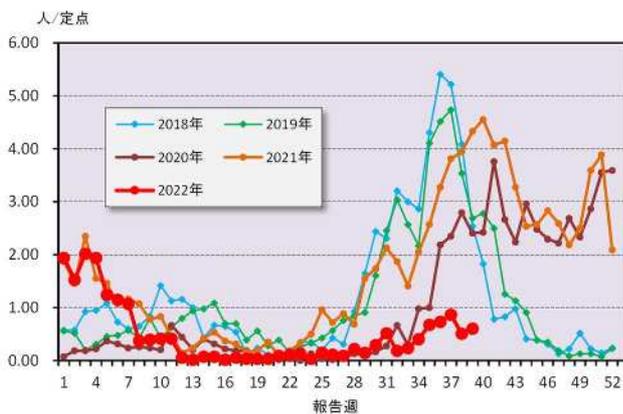


(3) ヘルパンギーナ

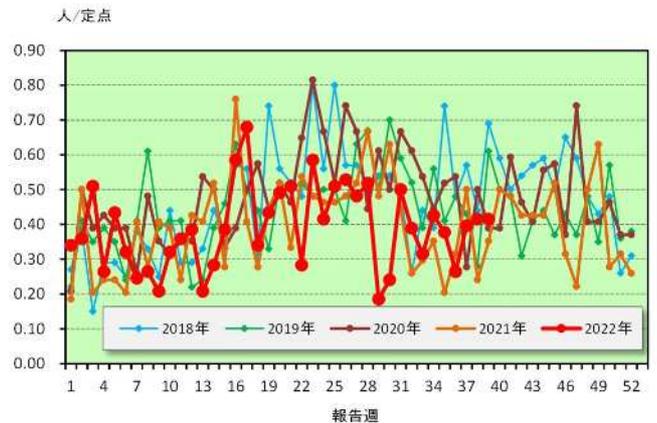


☆注目される感染症の発生状況

★ RS ウイルス感染症 (鹿児島県)



★ 突発性発しん (鹿児島県)



☆定点報告疾患の発生状況

2022年	(報告週)	第39週		
定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当り	累積報告数 (2022年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	-	-	26
小児科定点	○ 咽頭結膜熱	10	0.19	998
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	0.11	621
	感染性胃腸炎	108	2.04	12,036
	○ 水痘	3	0.06	148
	手足口病	58	1.09	2,708
	伝染性紅斑	-	-	24
	突発性発しん	22	0.42	806
	○ ヘルパンギーナ	33	0.62	428
	○ 流行性耳下腺炎	4	0.08	86
眼科定点	○ RSウイルス感染症	33	0.62	1,014
	急性出血性結膜炎	-	-	-
基幹定点	○ 流行性角結膜炎	1	0.14	89
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	-	-	2
	無菌性髄膜炎	-	-	8
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	0.00	4
報告数合計		278	0	18,998

○印は前週比増

☆5週間前からの疾患別報告数・定点当たり報告数

		5週前 (2022年34週)	4週前 (2022年 35週)	3週前 (2022年36 週)	2週前 (2022年37 週)	1週前 (2022年38 週)	今週 (2022年39週)
インフルエンザ	報告数	9	4	-	1	-	-
	定点当り	0.10	0.04	-	0.01	-	-
RSウイルス感染症	報告数	22	36	39	46	27	33
	定点当り	0.41	0.68	0.74	0.87	0.51	0.62
咽頭結膜熱	報告数	3	7	4	4	4	10
	定点当り	0.06	0.13	0.08	0.08	0.08	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	4	7	7	13	12	6
	定点当り	0.07	0.13	0.13	0.25	0.23	0.11
感染性胃腸炎	報告数	105	103	126	136	117	108
	定点当り	1.94	1.94	2.38	2.57	2.21	2.04
水痘	報告数	5	1	2	2	-	3
	定点当り	0.09	0.02	0.04	0.04	-	0.06
手足口病	報告数	56	43	67	72	68	58
	定点当り	1.04	0.81	1.26	1.36	1.28	1.09
伝染性紅斑	報告数	1	1	4	-	-	-
	定点当り	0.02	0.02	0.08	-	-	-
突発性発しん	報告数	23	20	14	21	22	22
	定点当り	0.43	0.38	0.26	0.40	0.42	0.42
ヘルパンギーナ	報告数	20	13	28	19	22	33
	定点当り	0.37	0.25	0.53	0.36	0.42	0.62
流行性耳下腺炎	報告数	2	2	-	2	2	4
	定点当り	0.04	0.04	-	0.04	0.04	0.08
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	4	-	3	4	-	1
	定点当り	0.57	-	0.43	0.57	-	0.14
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-

# 疾病別保健所別患者報告数及び定点当たり報告数(男女合計)

2022年39週(09月26日～10月02日)

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	0	0.00	33	0.62	10	0.19	6	0.11	108	2.04	3	0.06	58	1.09	0	0.00	22	0.42
鹿児島市	-	-	21	1.62	7	0.54	4	0.31	47	3.62	3	0.23	21	1.62	-	-	12	0.92
指宿	-	-	-	-	-	-	-	-	7	3.50	-	-	2	1.00	-	-	-	-
加世田	-	-	-	-	-	-	-	-	6	2.00	-	-	5	1.67	-	-	-	-
伊集院	-	-	1	0.25	1	0.25	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-	1	0.25
川薩	-	-	3	0.75	1	0.25	-	-	2	0.50	-	-	3	0.75	-	-	1	0.25
出水	-	-	2	0.67	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大口	-	-	-	-	-	-	1	1.00	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	-	-	5	0.71	-	-	-	-	21	3.00	-	-	10	1.43	-	-	4	0.57
志布志	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1.50	-	-	2	1.00	-	-	-	-
鹿屋	-	-	-	-	1	0.20	-	-	19	3.80	-	-	15	3.00	-	-	3	0.60
西之表	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33
徳之島	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎(真菌性を含む)		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎(オウム類は除く)		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	33	0.62	4	0.08	0	0.00	1	0.14	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
鹿児島市	12	0.92	2	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
指宿	2	1.00	1	0.50	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加世田	3	1.00	-	-	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伊集院	-	-	1	0.25	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川薩	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
出水	1	0.33	-	-	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大口	-	-	-	-	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	7	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
志布志	-	-	-	-	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿屋	5	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西之表	-	-	-	-	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	3	1.00	-	-	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	-	-	-	-	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

